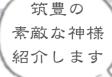


PICKUP



今月は細分八幡宮







神社の歴史 History

戦国時代末期、旧庄内町は秋月種実(戦国武将で秋月城主)の手厚い保護を受け 庄内郷の守り神と言うだけでなく、嘉麻群の宗社でもありました。 当時の神社のお祭りには、庄内町全域から大勢の人が賑わい、 行列も現在の赤坂保育所近辺まであったとされています。 時代の流れと、豊臣秀吉による九州遠征のため秋月氏が日向 に国替えなった後は綱分宮も撤退し神殿もあれ果てていくのです。 その後、江戸時代に入り黒田藩がこの地を治めると同時に人々の産土神と同時に 綱分八幡宮を黒田家家臣の祈願社として再度手厚く保護していくのですが 火災や明治維新の行政改革・神道指令などもあり、神社の行事や

火災や明治維新の行政改革・神道指令などもあり、神社の行事やお祭りなど一時途絶えた時期もありました。しかし、地域の理解と協力のもとで、盛大なお祭りが再び行われるようになり、 網分八幡宮放生会御神幸祭は

昭和35年8月5日県の無形民俗文化財 として認定され現在でも、嘉穂神楽・ 流鏑馬・獅子舞・稚児舞・行列・雅楽と 大切に歴史と文化が受け継がれているのです。



神社のあれこれ教えます!

名前の由来は?

出産後の皇后は、糟屋郡宇美町を出発し豊前宇佐の地を 目指した道の途中、金石山のふもとの金丸村(今の綱分 付近)でお休みになられました。その時に、安産のおま じないとして産綱を分けてお祀りしたその土地を、綱分 と呼び綱分八幡宮と名付けられたとされます。

教えて御祭神

- 応神天皇(おうじんてんのう)=勝利の神
- 仲哀天皇(ちゅうあいてんのう) = 武道の神
- 神功皇后(じんぐうこうごう)=子安・安産の神

どこにあるの?

住 所 / 〒820-0101 飯塚市綱分866-1 TEL / 0948-82-2069

誕生 The beginning

網分八幡宮は創建、神亀3年(726年)頃だと伝えられ 福岡市の筥崎宮と旧筑穂町の大分八幡と並ぶ由緒深い神社の一つです。 網分八幡宮の誕生の背景には、神功皇后伝説との関わりが深く関係し出産後の皇后が 三振りの宝剣をかめにいれて埋めたと残されていました。 伝説の通りに庄内郷13村(旧庄内町の12の大字と旧頴田町の佐与)の土地を 掘ってみた所、宝剣やその他の宝が発見され、その三振りの宝剣を 応神天皇・神功皇后・仲哀天皇の御神体として庄内郷13村の守り神とし祀られた事から 網分八幡宮の誕生に至るのです。



宮司さんからひとことよ

この綱分八幡宮は約1300年程前の創建当時より、

氏子・崇敬者の皆様方のお力により今日に至っています。

境内地も約4000坪と広く維持管理が困難な時代を迎えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

宮司 松岡 重達さん